

あまつなぎ と中央地域包括支援センターとの共催研修会の報告

あまつなぎ と中央地域包括支援センターとの共催研修会が、8月21日(水)13:30~15:30 尼崎市総合老人福祉センターにて、開催されました！

中央地区には、県立尼崎総合医療センター、大原病院、岡田病院、安藤病院、近藤病院、中馬病院、樋口胃腸病院の7病院があります。今回は、地域のケアマネジャーと病院の地域連携室のスタッフとの交流会を企画しました。参加者は、関係者を含め40名でした。

事前アンケート結果

ケアマネジャーには事前に、入退院連携に対するアンケート調査を行い、18件の回答がありました。

入退院連携シートは使用しているか 使用している：15/18名



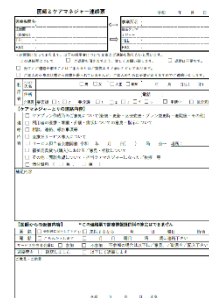
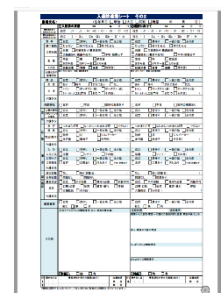
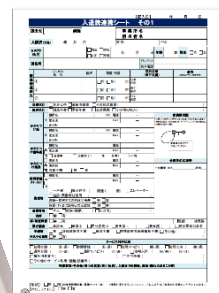
退院前カンファレンス 必ず開催、大体出来ている5/18名 状態に応じて 13/18名

医療機関との連携で困ったことはあるか？

連携の取り方	<ul style="list-style-type: none"> 連携先の窓口がわからない 複数の科にかかっている時の連携の仕方 MSWが入らない患者の病棟との連携が取れない MSWがいない
退院	<ul style="list-style-type: none"> 急な退院 身寄り無い方の対応 CMが退院後の生活の準備 CMが知らない間に退院、家族から聞く 不安定な状態で突然の退院
医師	<ul style="list-style-type: none"> アプローチしても連携とれない医師がいる
その他	<ul style="list-style-type: none"> 医療用語がわからない

あまつなぎからのお知らせ

- ご存知ですか？あまつなぎ
 - 「わたしファイル」
 - 「在宅療養ハンドブック」
 - 「入退院連携マニュアル・シート」
 - 「あまつなぎ機能マップシステム」
 - 「医師とケアマネジャーの連絡票」
 - 「在宅医紹介システム」
- ホームページの知っトク情報のお知らせ
 - 「尼崎市内の病院一覧」
 - 「退院退所加算のカンファレンス参加の算定要件は大丈夫？」
- 第6回あまがさき在宅医療介護塾のお知らせ



病院紹介

今回は、県立尼崎総合医療センター、安藤病院、中馬病院の地域連携室のスタッフが参加されました。
各々の病院に、機能や特徴などを紹介いただきました。



グループワーク

グループワークでの意見

- カンファレンスは目的を明確にして行う。一步先に進んだ内容が望ましい。
- 病院内で連携シートや連絡票の存在を共有
- 退院前カンファレンスに在宅の Dr や NS が参加してもいいのでは？
- 入院時は NS に情報を渡す（例：認知症の方の場合、対応等が分かれば入院中もスムーズである）、退院時は地域連携室と情報交換をすると、在宅に戻った時にスムーズではないか？
- 薬に関して薬手帳を入退院のツールとして使えたらいいのに・・・（他市では市民病院中心に地域薬局などと連携していくシステムを構築している）

感想

- 交流する機会がないのでよかった
- 連携についての研修を病院で開催してほしい
- 新人 CM なので、いろいろ聞けてよかった
- 普段からの顔が見える連携が大事
- 外来患者と病院の連携がなかなか上手くいかないと感じることもある
- 楽しいグループワークだった
- 思っていることや疑問点などが聞けてよかった
- 地域連携室の方も頑張っていて退院に向けてや、調整を医師等とされているのが分かった
- グループ内に 1 人の MSW ではなく、他病院の MSW も入って話が聞けたらよかった
- 連携シートについてもよく分かった
- 1 人ケアマネのため加算に関して気にも留めなかったが、グループで話を聞いているうちに重要性が分かった

